

珈琲茶房 と庵通信

「珈琲茶房 と庵」の行き方は京成鬼越駅から徒歩15分程 住所：千葉県市川市本北方1-44-20 電話：090-1552-6434



★茨城県笠間市の北大路魯山人の「春風万里荘」前にて

■茨城県笠間市 栗の家骨董市ほか

～と庵スタッフで訪れた日本美の世界～

■東京下町散策 深川めし&富岡八幡宮

■出版！「私の珈琲交遊録」

■コーヒー市況

■れんちゃんの4コマ～夏の里帰りで待っていたものとは？～

れんちゃんの4コマ

～夏の里帰りで待っていたものとは？～



夏休みの間、豆の選別アルバイトに毎日頑張っていたれんちゃん、お疲れ様でした！
9月からは奈良の大学に戻って勉強です。

珈琲茶房 と庵通信

と庵通信の設置&お店のご紹介

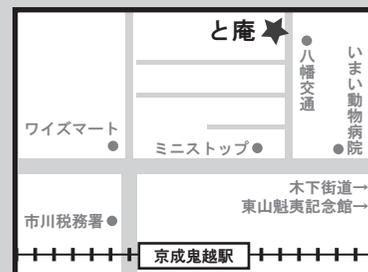
と庵通信の設置をご希望のお店様、ぜひご連絡ください。
空きスペースなどで、お店のご紹介をさせていただきます。

(お店の写真・原稿などはご郵送ください)

☆☆☆☆☆と庵通信 発行情報☆☆☆☆☆

- 発行部数：200部
- 設置店：と庵 (090-1552-6434)
- と庵通信コーディネーター：楠木
- と庵通信編集・撮影・制作：中西
- 広告掲載に関するお問合せ：
TEL090-1552-6434 (受付時間：9:00～17:00)

「と庵通信」はと庵が好きなボランティアの手で作られていますが、最低限かかる経費は広告掲載費、皆様の善意の募金などでまかなっております。
募金箱は、と庵店頭及び協力店にご置しますので協力のほどよろしくお願い申し上げます。



珈琲茶房 と庵へは、
京成鬼越駅から徒歩15分程
住所：市川市本北方1-44-20
電話：090-1552-6434

☕ 茨城県笠間市 栗の家骨董市ほか



栗の家外観



抹茶とモンブランのセット



栗の家骨董市

6月の晴れた日曜日、と庵スタッフ一同は茨城県笠間市の栗の家骨董市へ行ってまいりました。栗の家に併設された「空魄舎」主宰、(TV「開運!

なんでも鑑定団」でおなじみ) 安岡路洋が顧問をしている骨董市です。栗の家は、築100年以上を経た豪農屋敷を移築した建物で、内部は喫茶店になっています。

こちらで一休みした後、北大路魯山人の「春風万里荘」へ足を運びました。

「春風万里荘」は魯山人の鎌倉の旧宅を移築した風情あふれる江戸時代中期の茅葺き屋根の古民家です。周辺には、洋画家や日本画家、彫刻家、陶芸家、染織家などアトリエが点在する芸術村になっています。美しい庭園や茶室、風呂、石庭を堪能し、日本の伝統美に癒された一日でした。



北大路魯山人『春風万里荘』



魯山人が好んだ『長州風呂』



枯山水による石庭

☕ 東京下町散策 深川めし&富岡八幡宮



深川あさり蒸籠飯



富岡八幡宮の骨董市

7月には東京の下町散策に行っていました。

富岡八幡宮での骨董市へ行くついでに、門前仲町駅前の「門前茶屋」にて深川めし「深川あさり蒸籠飯」をいただきました。これは旨い!!

また、人形町まで足を延ばして、NHKの連続テレビ人形劇「新八犬伝」の人形美術などで脚光を浴びた人形師辻村寿三郎の人形館「ジュサプロー館」へ行きました。寿三郎さんに操られた人形は、まるで生命を吹きこまれたようにいきいきとしていました。館の中のライブスペースでは公演もやっていますので、ぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。



ジュサプロー館入口



ご本人登場で盛り上がりました!

～コーヒー市況～

現在、コーヒー相場は小刻みな動きをしながら高値で推移しています。理由としては、コロンビアの減産の影響が大きく、減った分をカバーするため、中米産の豆の需要が伸びたことが挙げられます。さらにタンザニア及びケニアも早魃(かんばつ)の影響から大幅な減産となっていることが、コーヒー相場を高くしている要因となっています。

ブラジルの今年の収穫・出荷が順調に行われるまでは、市場の逼迫感が解消されないものと思われます。

中米産やコロンビアは生産量と需要にまだ開きがあるため、コーヒー相場が下がったとしても価格は下がって行きにくい状況であり、特に年末に向かって端境期になるため、現物在庫の減少から中米産・コロンビアは下がりにくいと予想されます。

とうとう出版!

私の珈琲交遊録

一と庵・楠木惇の珈琲人生と私一

高橋 憲夫



と庵通信に連載予定だった高橋先生とと庵マスターの交遊録でしたが、あまりに長く面白いので一冊の本にしてみました。お読みになりたい方は、と庵に御来店いただくか、お申し付けいただければ発送いたします(有料)。お問合せはと庵まで。

<筆者プロフィール> 高橋 憲夫

1948年東京都に生まれる。
立正大学大学院文学研究科哲学専攻 修了
専門 19世紀ドイツ哲学、美学、芸術心理学
1971年外務省の外郭団体、世界青少年交流協会の交流プログラムにより、西ドイツ(当時)に派遣される。
1970年代前半から中盤、リサーチャーとして西ドイツでの短期留学を含むヨーロッパ各国

での調査活動に勤しむ。
帰国後、獨協大学外国語学部、立正大学文学部はじめ、数校の専門学校で非常勤講師を勤め、現在、帝京大学福祉・保育専門学校専任教員。
著書:編訳著 フックス版『諷刺画像のヨーロッパ史』柏書房
共著『都市と思想家』法政大学出版